

病院・薬局における薬剤師の需要状況調査の結果について(26年10月調査)

平成26年12月17日
医療指導課

1. 調査施設数

区分	施設数	回答数	回答率(%)
病院	45	45	100
薬局	270	200	74.1
計	315	245	77.8

<参考> 前回調査(平成25年10月)

区分	回答数	回答率(%)
病院	40	88.9
薬局	192	70.8
計	232	73.4

※診療所については、前回調査で回答のあった施設では、薬剤師配置がなく、不足数も僅少だったため今回調査では対象外とした。

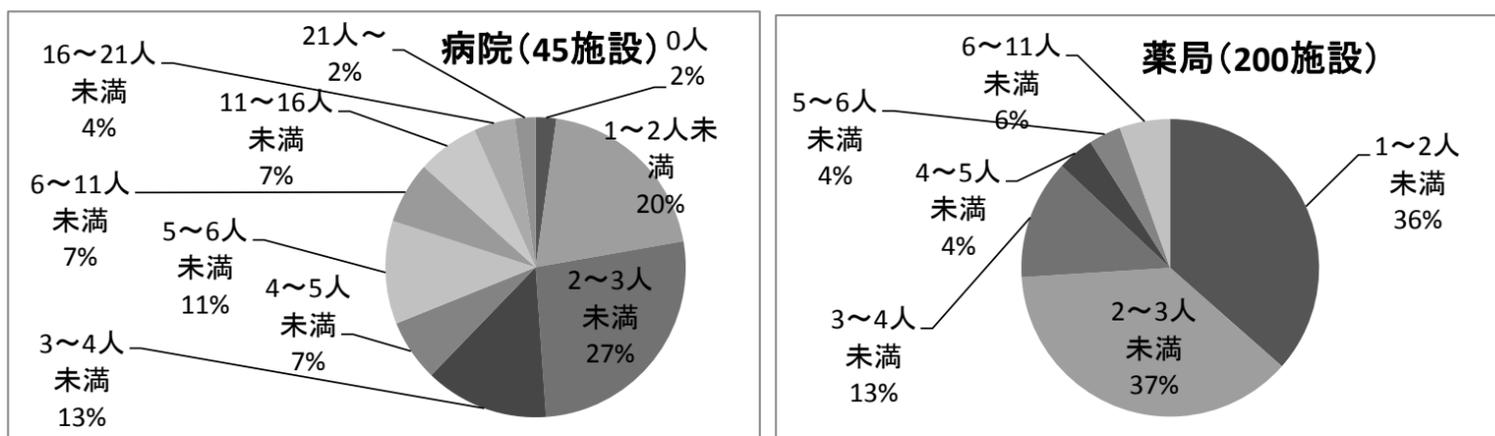
2. 薬剤師の配置数(常勤換算後)(平成26年10月1日現在)

	配置数(人) (うち常勤数)
病院	222 (219)
薬局	480 (398)
合計	702 (617)

(注)調査結果集計について(共通事項)

- ・常勤換算後の人数については、集計数値の小数点以下は四捨五入し、整数で表記。
- ・個々の施設の回答の中で、非常勤職員の常勤換算後の人数を記入されていないケースについては、実人員1人=0.3人と仮定して集計。

※配置数毎の施設割合は次のグラフのとおり



3. 平成26年度薬剤師採用実績(常勤換算後)(平成26年4月1日から10月1日)

	採用施設数	採用数(人) (うち退職補充)
病院	9	17 (5)
薬局	33	34 (10)
合計	42	51 (15)

4. 平成27年4月薬剤師採用募集(予定)人数(常勤換算後)

(人)

	募集施設数 (施設割合)	内定者数 (うち退職補充)	募集(予定)者数 (うち退職補充)	計
病院	27 (60%)	13 (5)	43 (10)	56
薬局	78 (39%)	13 (2)	75 (7)	88
合計	105	26 (7)	118 (17)	144

5. 薬剤師の不足数(常勤換算後)(平成26年10月1日現在)

将来的な不足数を含めると、病院で81名、薬局で149名、合わせて230名が不足となっており、全体の不足人数は、平成25年10月の調査結果(全体で228人不足)とほぼ同様の結果であった。

(1) 薬剤師の不足数の内訳

(人)

H26.10.1	病院	薬局	計
早急に必要	42	65	107
将来的不足	39	84	123
計	81	149	230

<参考> 昨年度調査結果より

(人)

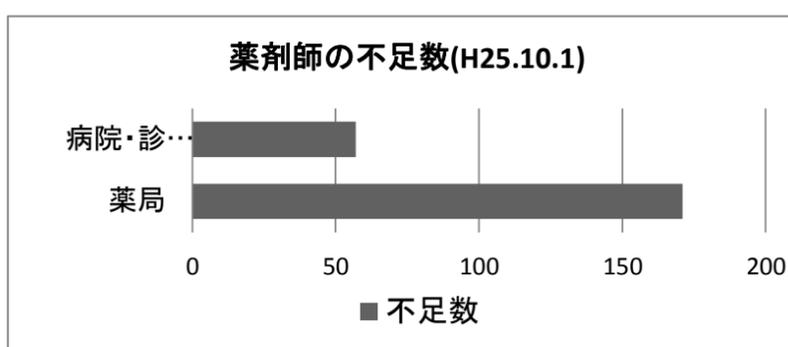
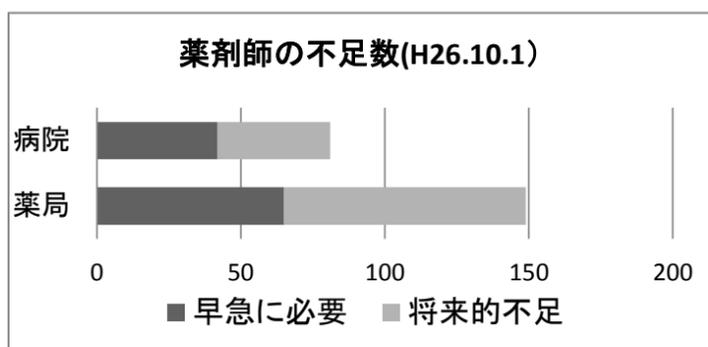
H25.10.1	病院	診療所	薬局	計
不足数	55	2	171	228

※昨年度は、将来的な不足も含めた人数として調査。

(2) 早急に採用が必要な施設の状況

(施設数)

不足数	~1人未満	1~2人未満	2~3人未満	3~4人未満	4~5人未満	5人~	計
病院	1	9	4	0	1	4	19
薬局	19	32	10	0	0	0	61
合計	20	41	14	0	1	4	80



6. 主な不足理由（早急に採用が必要な理由）

【病院】

- ・退職者の補充ができていない。
- ・薬剤管理指導の充実・質の向上、病棟薬剤業務実施率の向上を図りたい。
- ・時間外勤務や休日・夜間対応などによる職員の負担軽減を図りたい。

【薬局】

- ・勤務時間体制の改善・職員の週休確保のため。（各種法令遵守の上でも必要）
- ・処方せん応需の集中する時間帯に増員したい。（患者の待ち時間短縮、過誤防止）
- ・職員の産休取得や短時間就労への変更などにより、人員不足が発生（予定）。
- ・在宅医療、処方内容の複雑化、長期処方や一包化等により業務量が増加。

<参考>将来的な不足については、退職（休職）予定者の補充（共通）、病棟活動の推進（病院）、在宅医療・健康相談業務の充実・実務実習受入れ（薬局）などの理由であった。

7. まとめ（前回調査との比較等）

（1）回答のあった施設数

- 前回より、回答率は若干増加。（病院・薬局合わせて13施設増）

（2）薬剤師の不足数

- 今回は、早急に必要な不足数と将来的な不足数を分けて調査した。病院・薬局合わせて、早急な必要数は107人、将来的な不足数は123人、合計で230人が不足という結果で、前回調査（228人）とほぼ同様であり、県内の薬剤師不足の状況は依然改善が見られていないことが推測される。
- なお、内訳として、病院の不足数が増加（55人→81人）し、薬局の不足数は減少（171人→149人）している。
- 今年度上半期に常勤換算で51人の薬剤師が採用されていること、来春採用の内定者が26人あることから、一定の県内就業はあると考えられる一方で、早急な必要数が107人おり、引き続き逼迫した状況にある。

<参考>本県の薬剤師確保の取組

（1）鳥取県薬剤師確保対策推進事業（補助事業）（鳥取県薬剤師会・県）

- 薬学部設置大学の就職ガイダンスへの参加
- 【実績】 H24年度：5大学、H25年度：4大学、H26年度：2大学（12月現在）
- 薬剤師募集の広報・チラシ等作成・配布
- 未就業者登録・マッチング事業、復職支援プログラムの実施

（2）薬剤師無料職業紹介所の開設（鳥取県薬剤師会）

（3）薬学教育6年制における実務実習の受入薬局・病院の確保

（鳥取県薬剤師会及び鳥取県病院薬剤師会）

県出身薬学生のUターン就職が期待される「ふるさと実習」を推進。

【実績】 平成24年度 病院：21人 薬局：17人

平成25年度 病院：22人 薬局：13人

（4）薬学生サマーセミナーの実施（H26年度）

県内の病院・調剤薬局での薬剤師のチーム医療への関わり、在宅医療などへの取組等の現場体験を通して、卒業後の進路検討の参考としてもらい、県内就業を促進。【実績】薬学生：10人（うち県内出身者4人）

受入施設：10施設（病院7・薬局1・県機関2）